

2017年度 秋学期入学 大学院入学試験要項

秋学期入学試験実施研究科・専攻
国際英語学研究科 〈国際英語学専攻〉
経済学研究科 〈経済学専攻〉

CONTENTS

研究科共通ページ〈出願者全員が確認してください〉	
1. 中京大学大学院入学者受入の方針 1 ページ	5. 受験票の受け取り 3 ページ
2. 入学定員と試験区分(選抜方式)一覧 ... 2 ページ	6. 試験当日の注意事項(持ち物含む) 4 ページ
3. 2017年度秋学期入学試験日程一覧 2 ページ	7. 合格発表 4 ページ
4. 出願について 3 ページ	8. 入学手続 4 ページ
(1) 出願方法 3 ページ	9. 学費等 5 ページ
(2) 検定料 3 ページ	(長期履修制度について) 5 ページ
(3) 修学及び受験に際して 特別な配慮を要する方へ 3 ページ	10. 個人情報の取り扱いについて 6 ページ
	11. キャンパスマップ(集合場所) 6 ページ

各研究科ページ〈出願する研究科のページを確認してください〉				
研究科	専攻	課程	設置キャンパス	主な掲載内容
国際英語学	国際英語学	修士	名古屋	<ul style="list-style-type: none"> ・入学定員と試験区分(選抜方式) ・出願資格 ・入試日程一覧 ・選抜方法 ・試験科目・時間等 ・試験当日集合場所・時間
経済学	経済学	博士前期(修士)・ 博士後期	名古屋	<ul style="list-style-type: none"> ・出願書類 ・研究科概要及び特色 ・教員組織 ・教員の研究分野の紹介

●巻末書類〈出願書類所定用紙〉

身元保証書〈外国人留学生のみ〉
志願書〈研究科別〉

●同封書類

受験票・写真票・検定料払込票
検定料払込用紙
宛名シール
出願用封筒

入学試験に関する問い合わせ先

中京大学 教学部 大学院事務課

E-mail gs-office@mng.chukyo-u.ac.jp

名古屋キャンパス

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2

TEL : (052) 835-9863

1. 中京大学大学院入学者受入の方針

	博士前期（修士）課程	博士後期課程
経済学研究科	<p>経済学研究科は、「経済学専攻」と「総合政策学専攻」の2専攻を設け、学生を募集する。「教育研究上の目的（人材養成の目的）」にある人材を輩出するため、以下のような能力と意欲ある人を広く求め、受け入れる。</p>	
	<p>1. 本課程経済学専攻では一般選抜のほか、税理士選抜、社会人選抜、留学生選抜を設けて入学試験を実施する。</p> <p>2. 本課程総合政策学専攻では一般選抜のほか、社会人選抜、留学生選抜を設けて入学試験を実施する。</p> <p>3. 本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会が直面する諸課題について、明確な問題意識を有していること。 ・専門教育を受けるに適した学識や問題処理能力を有していること。 ・自ら設定した課題について遂行する意欲を有していること。 	<p>本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程において経済学又は総合政策学についての高度な学識や問題処理能力を修得していること。 ・学術研究・教育者あるいは高度専門実務家として活躍するために、自ら設定した課題について研究活動を遂行する意欲を有していること。

※秋学期入学試験は、経済学研究科経済学専攻のみ実施。

	修士課程	
国際英語学研究科	<p>国際英語学研究科は、「中京大学の建学の精神」、「中京大学の理念」、及び専攻科が定める教育研究上の目的（理念・目的）にある人材を育成するために、以下のような能力と意欲ある人を広く求め、受け入れる。</p>	
	<p>国際英語学専攻</p> <p>本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門教育を受けるに適した学識や問題処理能力を有していること。 ・研究に必要とされる十分な英語力を有していること。 ・自ら設定した研究課題について遂行する意欲を有していること。 ・文化を異にする人達と良好な人間関係を構築できること。 	<p>英米文化学専攻</p> <p>本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会が必要とする、国際レベルでの異文化間相互理解と交流の課題に対する明確な問題意識を有していること。 ・語学力を含めて、専門教育を受けるに適した学識や問題処理能力を有していること。 ・自ら設定した課題について遂行する意欲を有していること。 <p>(注意) 英米文化学専攻では、学生募集は春学期入学のみとする。</p>

※秋学期入学試験は、国際英語学研究科国際英語学専攻のみ実施。

2. 入学定員と試験区分（選抜方式）一覧

2017年度秋学期入学試験を実施する研究科・専攻・課程は以下のとおりです。

なお、表中の定員は、2017年度春学期入学試験の定員との合算人数です。

研究科	専攻	課程	入学定員	試験区分（選抜方式）				
				一般選抜	社会人選抜	留学生選抜	税理士選抜	学内特別選抜
国際英語学	国際英語学	修士	5名	○	—	—	—	—
経済学	経済学	博士前期（修士）	5名	○	○	○	○	—
		博士後期	2名	○	—	—	—	—

3. 2017年度秋学期入学試験日程一覧

博士前期（修士）課程

研究科	試験区分	出願期間 (最終日消印有効)	試験日	合否通知 発送日	第一次入学 手続期間	最終入学 手続期間	入学辞退 手続締切日
国際英語学 (国際英語学専攻のみ)	一般	2017年 6月12日(月) ∪ 6月22日(木)	7月8日(土)	7月18日(火)	7月18日(火) ∪ 7月25日(火)		9月20日(水)
経済学 (経済学専攻のみ)	一般/社会人 留学生/税理士				※二段階納入方式ではありません		

外国人の方及び外国在住の日本人の方で日本国外から出願される場合は、出願期間以前の受付も可能です。事前に大学院事務課にご相談ください。

博士後期課程

研究科	試験区分	出願期間 (最終日消印有効)	試験日	合否通知 発送日	第一次入学 手続期間	最終入学 手続期間	入学辞退 手続締切日
経済学 (経済学専攻のみ)	一般	2017年 6月12日(月) ∪ 6月22日(木)	7月8日(土)	7月18日(火)	7月18日(火) ∪ 7月25日(火)		9月20日(水)
					※二段階納入方式ではありません		

外国人の方及び外国在住の日本人の方で日本国外から出願される場合は、出願期間以前の受付も可能です。事前に大学院事務課にご相談ください。

4. 出願について

(1) 出願方法

【郵送・窓口持参共通事項】

- ① 所定の封筒に必要な事項を記入し、出願書類を入れてください。
- ② 論文等が大きく、所定の封筒に入らない場合は、所定の封筒の表面を切り取り、出願書類が入る大きさの任意の封筒に貼付してください。
- ③ 出願書類に不備がある場合は出願を受け付けません。

【出願書類を郵送する場合】

- ・ 出願期間最終日の消印有効とします。
- ・ 「速達の簡易書留郵便」で送付してください。

【出願書類を大学窓口に持参する場合】

- ・ 名古屋キャンパスの大学院事務課窓口（以下）にて出願を受け付けます。

〈大学院事務課のご案内〉

名古屋市昭和区八事本町101-2 14号館1階

※受付時間は平日の9:00~17:00です。時間外の受付はいたしかねますのでご注意ください。

(2) 検定料

- ① 入学検定料（35,000円）は同封の検定料払込用紙を用いて、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にて払い込んでください。
- ② 「振替払込受付証明書（願書貼付用）」は、ゆうちょ銀行又は郵便局の日附印を確認の上、**検定料払込票の所定欄に貼付**してください。
- ③ 現金や為替を封入したり、他の金融機関での振込、及びATMによる振込は受け付けることができません。
- ④ 振込手数料は個人負担となります。払い込まれた入学検定料は返還いたしませんのでご了承ください。
- ⑤ 「振替払込請求書兼受領証」は大学発行の領収書とみなしますので、大切に保管してください。
- ⑥ 払込用紙裏面の収入印紙については貼付する必要はありません。
- ⑦ 入学検定料納入期間は、出願開始日の一週間前から、出願締切日までです。

(3) 修学及び受験に際して特別な配慮を要する方へ

中京大学では、障がい等により、受験及び修学に際して配慮を希望する方からの相談を随時受け付けています。

なお、相談の内容によっては、出願前に志願者ご本人（及び保護者）に面談を依頼することがありますので予めご承知ください。

※この面談は、受験上及び修学上の配慮について確認するものであり、合否判定等とは一切関係ありません。

出願の検討段階での相談でも構いませんので、できる限り早めに本学大学院事務課までお申し出ください。特に、受験に際しての配慮を希望される方は、各試験の出願開始の4週間前までに必ずご連絡ください。

5. 受験票の受け取り

- ① 受験票は願書受付締切後、随時郵送します。
- ② 受験票が試験日の3日前になっても届かない場合は、教学部大学院事務課 TEL (052) 835-9863へ連絡してください。
- ③ 受験票を紛失した場合や忘れた場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出て、「仮受験票発行」の手続きをとってください。

6. 試験当日の注意事項

(1) 持参するもの

- ①受験票 ●受験票を忘れた場合、又は出発時まで受験票が届かなかった場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出てください。
- ②筆記用具 ●HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、プラスチック消しゴム
※下敷き、定規、コンパス等の使用は認めません。
- ③時計 ●試験会場（試験室）には時計がありません。
●時計以外の機能が付いたものの使用は認めません（タイマーや大型時計の使用も認めません）。
また、携帯電話（スマートフォン含む）・PHS等を時計として使用することもできません。
- ※研究科・専攻により、辞典・辞書等の持込を許可している場合があります。詳細は各研究科ページを参照してください

(2) 試験室への案内

- ①試験開始30分前までに、各研究科・専攻が指定する場所に集合してください。なお、試験室への案内は、掲示・大学院入試担当係員の誘導などにより行います。
※集合場所は各研究科ページを参照してください。
※前日に試験室を下見することはできません。
- ②試験開始10分前までに所定の試験室、座席に着くようにしてください。
- ③各試験会場内は禁煙とします。

(3) 遅刻について

私的な理由による遅刻については試験開始後30分まで入室を認めます。それ以降の遅刻は一切認めません。なお、時間延長等の特別措置はありません。公共交通機関の遅延によって試験に遅れる場合は、遅延証明書をお持ちください。

7. 合格発表（合否通知発送）

- ①合否通知発送日（各研究科ページ参照）に合否通知を発送します。
- ②合格者の入学手続書類は、合格通知書とともに郵送します。

8. 入学手続

入学手続に必要な書類は、合格通知書に同封して郵送します。
入学手続に関する詳細は『入学手続要項』を確認してください。

〈入学手続〉

入学手続期間に入学金及び授業料等の納入、入学手続書類の送付をすることで入学手続が完了となります。

〈入学辞退〉

入学手続完了後、入学辞退締切日までに「入学辞退届」を提出した場合は、入学金を除く入学時納付金（授業料等）を返還いたします。

※入学辞退締切日は各研究科ページを参照してください。

外国人留学生のみ

外国人留学生の入学手続者は、入学手続完了後ただちに、中京大学国際センターまで必ず連絡してください。
中京大学国際センター TEL (052) 835-7133

9. 学費等

※この学費は2017年度入学生のものです。

I：国際英語学研究科

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	学会費	年額計	入学時納付金
修士課程	200,000	440,000	200,000	1,000	841,000	520,000

II：経済学研究科

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	年額計	入学時納付金
博士前期課程 (修士課程)	200,000	440,000	200,000	—	840,000	520,000
博士後期課程	200,000	400,000	150,000	—	750,000	475,000

【補足事項】

- ①博士前期（修士）課程の2年次納付金は、1年次と同額です（入学金を除く）。
- ②博士後期課程の2年次及び3年次の納付金は、1年次と同額です（入学金を除く）。
- ③「入学金」は入学時のみ納入、「授業料、教育充実費及び実験実習費」は春学期・秋学期の2回に分けて納入していただきます。ただし、入学時の秋学期分については、入学時納付金に含まれます。
- ④中京大学卒業の博士前期（修士）課程入学者は、入学金20,000円、教育充実費は入学時の1年次秋学期分のみ半額です。
- ⑤本学博士前期（修士）課程から、同一の研究科の博士後期課程への進学者は、入学金を免除します。
- ⑥入学後、いくつかの特定科目の履修に際して別途履修費及び実習費を徴収することがあります。
- ⑦学費は「学則」の改定にともない在学中に変更することがあります。
- ⑧外国人留学生は、学費のうち「授業料」について3割減免措置を、博士前期（修士）課程に対しては入学後2年間、博士後期課程に対しては入学後3年間の各期間適用いたします。
- ⑨入学辞退締切日までに入学辞退手続をした場合、入学時納付金のうち、入学金を除くその他の納付金を返金いたします。
- ⑩国際英語学研究科は「学会費」を春学期に納入していただきます。
- ⑪経済学研究科経済学専攻博士前期（修士）課程社会人選抜の合格者で修学期間3年を選択した入学者の授業料については、標準修学期間（2年間分）の授業料を、選択した修学期間（3年）で納入していただきます。

【長期履修制度について】

経済学研究科経済学専攻博士前期（修士）課程「社会人選抜」志願者対象

本学大学院学則において、博士前期（修士）課程の標準修業年限は2年間と定められていますが、職業を有している等の事情により、十分な学習・研究時間が確保できない場合、経済学研究科経済学専攻は3年間での計画的な教育課程の履修を可能としています。社会人選抜志願者のうち、長期履修制度の適用を希望する場合には、志願書の「在学期間」欄にて申請してください。

※長期履修は、申請すれば必ず認められるものではありません。審査により不可となる場合もありますのでご注意ください。

※入学後に長期履修制度の適用申請はできません。また、この制度は学業不振などの理由により修了が延期となる者を救済するためのものではありません。

※いずれの在学期間を選択しても、4年を超えて在学することはできません。

※学費の納入については、上記【補足事項】の⑪を参照してください。

国際英語学研究科

国際英語学専攻【修士課程】

- 以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

※国際英語学研究科英米文化学専攻の学生募集は春学期入学のみの実施です。

2017
CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分	入学定員*
国際英語学	国際英語学	修士	一般選抜	5名

※入学定員は2017年度春学期入学試験の定員との合算人数を示す。

2. 出願資格

試験区分	出願資格
<p style="text-align: center;">一般選抜</p> <p style="text-align: center;">国際英語学専攻</p>	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2017年9月20日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者</p> <p>②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者</p> <p>③外国において学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</p> <p>⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</p> <p>⑧文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者</p> <p>⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに学部大学院事務課までお問い合わせください。</p> <p>対象者（例）…飛び級による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>

3. 入試日程一覧

課程	試験区分	出願期間 ^{※1}	試験日	可否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※2}	入学辞退 手続締切日
		最終日 消印有効			消印有効	必着
修士	一般	2017年 6月12日(月)) 6月22日(木)	2017年 7月8日(土)	2017年 7月18日(火)	【入学手続】 2017年 7月25日(火)	2017年 9月20日(水)

※1…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※2…入学手続の概要は以下のとおり。

【入学手続】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

4. 選抜方法

①当日の試験、②出身大学・大学院の成績、③その他出願書類によって行います。

5. 試験科目・時間等

試験区分	試験時間	試験科目
一般	10：00) 12：00	国際英語学 ・英語学、社会言語学、外国語教育学、地域研究等の基本的知識の有無をみる。 ・辞書等の持込は不可。
	13：30) 15：00	英語 ・辞書等の持込は不可。 ・TOEFL スコア88点 (iBT 基準) 以上又は TOEIC L&R スコア800点以上 (IP テスト可) 又は英検準1級以上の者は英語の試験を免除。
	15：30 [*])	口頭試問 ・志望領域の関心と学識、入学後の研究計画等について試問を行う。

※口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

名古屋キャンパス14号館1階ロビー 9：30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ① 巻末一国際英語学・志願書 を使用すること。 ② 「卒業論文又は修士論文」欄には、論文の題目と概要を記入すること（400字程度、作成途中の場合は予定を記入）。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ※卒業論文等を作成していない場合は、その旨を記入。 ③ 「入学後の研究計画案」欄には、研究計画や研究したい内容を記入すること（400字程度）。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。
卒業証明書 (含見込)	<ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。
検定試験証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語」試験の免除を希望する者は、各検定試験の成績証明書（コピー可）を提出すること。
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。
住民票	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3か月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末一身元保証書 を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 研究科概要及び特色

国際英語学研究科 国際英語学専攻

修士課程

1. 沿革

1966年4月に設立された文学部英文学科を改組転換し、国際英語学部が国際英語学科と英米文化学科を擁して2002年4月に設立された。2006年3月にその第1期生を送り出すのを期に、文学研究科英文学専攻を改組転換し、国際英語学研究科を開設することとなった。本研究科は国際英語学専攻と英米文化学専攻の2専攻で構成されている。

2. 専門分野・教員組織

国際英語学専攻は、国際英語学、異文化間コミュニケーション、国際英語教育学の3つの主分野を核にして構成され、国際社会で活躍できる高度な知識と能力を有する人材の育成を目指している。教育組織は、専任教授・准教授・講師を中心に構成されていて、多彩な研究と総合的な研究指導を展開している。

3. 教育理念及びカリキュラム

英語が世界に広まり「国際共通語」とまで言われる現在、英語を使う非英語母語話者は英米などの母語話者の数倍に達し、様々な英語変種を生み出している。それに伴い、英米をはじめとする英語圏の英語も変種の一つと考える新しい国際英語の概念が注目されている。国際英語学専攻では、この国際英語論の更なる理解を深め、様々な分野で活躍できる人材の育成を基本的な目的としている。

教育課程は、「国際英語学特殊演習」の研究科目の他、「国際英語学」、「言語政策」、「国際英語教育学」、「異文化理解」、「社会言語学」などの多彩な研究教育科目で構成されている。

4. 施設・設備

中京大学図書館は、名古屋、豊田両キャンパスで約100万冊の図書を所蔵している。人文系の図書は約20万冊で、言語学、英語学、社会学関連の図書も充実しており、研究に資するようになっている。

5. 入学時期

春学期からだけでなく秋学期からの入学も可能である。学年暦がセメスター制であることや、外国の大学修了者の受験を考慮した入学システムを採用し、自己の研究計画に合った入学時期を選択することができるようになっている。

6. 院生の研究活動

大学院生は、それぞれの専攻とする分野を定めて研究を行い、機会を得てその成果を発表することが期待されている。特に国際英語学専攻では、国際英語学科の組織をも含む「中京大学国際英語学会」と称する研究機関を組織していて、研究発表の機会を定期的に設けている。また、院生の学術論文の公刊も積極的に勧めている。更に、世界国際英語学会、日本「アジア英語」学会、大学英語教育学会等の学外の学会に所属し、積極的な学会活動を行うよう奨励している。

7. 課程修了後の進路

高度な英語力を有する国際人、企業人、教育従事者を社会に送り出すことを想定している。具体的な進路としては、国連機関、多国籍企業、NGO、NPO等の外務省外郭団体、観光・旅行業関係、日本語教師、海外の日本人学校教員、外国人研修生指導員などを想定している。また、英語専修免許の資格を取得させ、国際英語の視点に立った英語教育者を育成し、さらに現在既に英語教育に携わっている教師を再研修し、現場に送り出すことも想定している。加えて、国際英語学における研究従事者の育成も視野に入れ、博士課程への進学者の研究指導も考慮している。

本学では、よりよい教育研究のため、「教育研究上の目的に関する規程」を作成し、その中で、各研究科の「人材の養成に関する目的」を明記しています。

●国際英語学研究科の「人材の養成に関する目的」

- (1) 国際英語学専攻修士課程は、国際英語の視点に立ち、英米の英語や文化への偏重姿勢を超えた新しい国際的視野をもつ英語教育者を養成すること、及び、そのような英語教育者の養成に自ら貢献しうる国際英語学研究者を育てることを目的とする。また、現代の国際化する企業組織や国際団体等で求められる多様な専門知識や技術を獲得するとともに、汎用性を有する高度な英語力と異文化に対する深い理解や柔軟な対応力を有する国際人の養成を目的とする。
- (2) 英米文化学専攻修士課程は、国際英語の観点も視野に入れた高いコミュニケーション能力を有するとともに英米文化に関する専門性を持った高度専門職業人・企業人、研究員を養成することを目的とする。文化研究コースでは、旧来の英文学専攻に見られる文学偏重を排し、英米の音楽・映画等の現代文化も題材にして多面的な英米文化研究を目指す。また、言語研究コースでは、実際の言語運用の側面にも配慮した研究・教育を行う。こうした専門教育に加えて、実践的英語運用能力の向上を配慮した科目を配することで高度な専門知識を備えた国際人の養成を目的とする。

9. 教員組織

国際英語学研究科長 クリストファー・J・アームストロング

国際英語学専攻

修士課程	専任教授	ジェームズ・ダンジェロ	国際英語学特論
	〃	榎木 蘭 鉄 也	言語政策特論
	〃	都 築 雅 子	国際英語学特殊演習
	〃 准教授	リチャード・モリソン★	英語プレゼンテーション特論
	〃 講師	尾 和 潤 美★	異文化理解特論
	〃	松 元 洋 介★	英語論文作成法特論
	〃	メリサンダ・ベルコウィッツ	国際関係学特論

★…指導教員として選択できません。

※上記は2017年5月現在の教員組織です。

10. 教員の研究分野の紹介

国際英語学専攻

教員名 及び 専攻分野

専攻分野の内容

James D'ANGELO

ジェームズ・ダンジェロ

応用言語学
Applied Linguistics,
World Englishes

James D'Angelo's research interests focus on a world-Englishes-informed approach to defining and codifying an Educated Variety of Japanese English, and of identifying pedagogical practices — such as interdisciplinary studies — to help build such a variety. His most recent research is in the area of EIL and English as a lingua franca. He is editor-in-chief of the journal *Asian Englishes*.

(参考) Curriculum and world Englishes: Additive language learning as SLA paradigm, in Low, E.L. & A. Hashim, *English in Southeast Asia*. John Benjamins. (2012)

ENOKIZONO Tetsuya

榎木 鉄也

社会言語学
Sociolinguistics

インドなど南アジアの①英語変種の記述、②言語政策、③言語選択、④教育制度（特に言語教育）の研究をしている。また、言語や文化の接触と伝播、英語・インド諸語・日本語間の語句の借用関係、多言語学習法等にも関心を持つ。

(参考) 『アジア英語辞典』三省堂（共著）、『事典アジアの英語事情』大修館書店（共著）、『世界の言語政策：第二集』くろしお出版（共著）

TSUZUKI Masako

都 築 雅 子

語彙意味論・コーパス言語学
Lexical Semantics and
Corpus Linguistics

語彙意味論・文法研究及び日本人の話す英語のインテリジェビリティに関する研究を行っている。英語の語彙や構文に関しては、現代英語の電子コーパス（実際の書き言葉や話し言葉をコンピュータ上で利用可能にしたテキストの集合体）を利用し、最近では、コーパスの英語学習や教育への活用にも興味がある。

(参考) 『認知文法論Ⅱ』大修館書店（共著）

Richard MORRISON

リチャード・モリソン

英語教育学
Teaching English as a Foreign
Language

Richard Morrison's research interests are based around curriculum development and reform. He works closely with teachers in finding the strengths and weaknesses of Japanese English language learners in the university setting, with regards to reading, listening, and speaking. His work centers on improving the English language learning opportunities in the classroom. His classes will be designed to learn about the best ways to promote quality English education in the Japanese English language classroom.

OWA Masumi

尾 和 潤 美

国際協力／グローバル・ガバナンス研究
International Cooperation/
Global Governance

国際関係学の観点から国際協力分野の政策研究や国際機関研究を行っている。最近では、国際協力分野におけるグローバル・ガバナンスの在り方、アフリカの開発課題、日本の援助政策など、現地調査も含めた研究を実施している。

(参考)

・The Changing Global Aid Architecture: An opportunity for Japan to play a proactive global role?, in Asplund, A. & Söderberg, M., *Japanese Development Cooperation: The Making of an Aid Architecture Pivoting to Asia*, Routledge (2016)

・Is OECD DAC's aid effectiveness agenda based on evidence?, *Journal of Development Effectiveness*, Vol. 7 Issue4 (2015)

MATSUMOTO Yosuke

松 元 洋 介

史的統語論
Historical Syntax

生成文法理論に基づき、現代英語のみならず英語史における言語事実の研究を行っている。最近では英語史における前置詞残留の使用拡大、現代英語の不定詞関係節におけるWH句の生起制限を研究対象とする。

(参考) 『言語変化：動機とメカニズム』開拓社（共著）

Melisanda BERKOWITZ

メリサンダ・ベルコウィッツ

文化人類学と国際協力
Anthropology and Development

健康をウェルビーイングとし、その社会・政治的要因をグローバルな視野で探る。特に、国際協力実践において文化相対主義の視点から自然科学をどのように考え、応用するかをテーマに、文化人類学的なフィールド調査やアーカイブ調査を行う。フィールドは、バングラデシュ、フィリピン、日本で、最近では障がい者家族の権利、住民の組織化（community organizing）の事例研究も行う。

経済学研究科

経済学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

- 以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）は**巻末**を確認してください。
- 博士前期（修士）課程の秋学期入学試験では、学内特別選抜は実施しません。
- 経済学研究科総合政策学専攻の学生募集は春学期入学のみの実施です。

2017

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分 ^{*1}	入学定員
経済学	経済学	博士前期（修士）	一般・社会人・留学生・税理士選抜	5名 ^{*2}
		博士後期	一般選抜	2名 ^{*2}

※1…同一日程における複数の試験区分の併願不可。

外国人留学生で博士前期（修士）課程を志願する者は、一般選抜、留学生選抜のいずれかに出願すること。

※2…入学定員は2017年度春学期入学試験の定員との合算人数を示す。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2017年9月20日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに学部大学院事務課までお問い合わせください。 対象者（例）…飛び級による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等 外国の大学その他の外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
社会人選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学時に大学卒業後3年以上経過した者。なお、職歴の有無や内容は問わない
税理士選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士を志望する者
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者

博士後期課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2017年9月20日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位や専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>

3. 入試日程一覧

課程	試験区分	出願期間 ^{※1}		試験日	可否通知 発送日	入学辞退 手続締切日 ^{※2}	
		最終日 消印有効				消印有効	必着
博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生 税理士	2017年 6月12日(月)	6月22日(木)	2017年 7月8日(土)	2017年 7月18日(火)	【入学手続】 2017年 7月25日(火)	2017年 9月20日(水)
博士後期	一般						

※1…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願を受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
 外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。
 ※2…入学手続の概要は以下のとおり。
【入学手続】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

志願者は出願前に志望指導教員に連絡を取り面談を受けてください。

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

①当日の試験、②出身大学の成績によって行います。

博士後期課程

①当日の試験、②論文又はこれに代わる業績を記す書類、③出身大学院の成績によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

試験区分	試験時間	試験科目
一般	10:00 } 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ●必須科目：英語 <ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。 ●選択科目：①ミクロ経済学 ②マクロ経済学 ③志望する専攻分野の科目 <ul style="list-style-type: none"> ・上記3科目の中から、2科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する専攻分野は志望指導教員の専攻分野とすること（教員の専攻分野は後掲「教員の研究分野の紹介」参照）。
	筆記試験 終了後*	面接
社会人 税理士 留学生	10:00 } 11:00	小論文 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時に申請した志望する専攻分野（志願書に記入）から出題。 ・志望する専攻分野は志望指導教員の専攻分野とすること（教員の専攻分野は後掲「教員の研究分野の紹介」参照）。
	筆記試験 終了後*	面接

※面接の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

試験区分	試験時間	試験科目
一般	10:00 } 12:00	英語 <ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
	筆記試験 終了後*	口頭試問 <ul style="list-style-type: none"> ・提出論文及び研究計画を中心とする。

※口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

名古屋キャンパス14号館1階ロビー 9:30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。

書類名称	詳細
宛名シール 【同封書類】	・ 通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> ① 巻末－経済学・志願書を使用すること。 ② 後掲「教員の研究分野の紹介」を参照し、志望指導教員を選択すること。 ③ <u>出願前に志望指導教員に連絡をとり面談を受けること</u>。面談後、志望指導教員に「面談年月日」欄の記入・捺印を依頼すること。 ④ 博士前期（修士）課程社会人選抜志願者は、在学期間を選択すること。 ※ 選択した在学期間のいかにかわらず、4年を超えて在学することはできない（長期履修制度については、研究科共通ページ「学費等」参照）。 ⑤ 「履歴事項」欄が不足する場合は、別紙に記入すること。 ⑥ 「修士論文又は卒業論文」欄は、博士前期（修士）課程修了者は修士論文について、学部卒業者で卒業論文を作成した者は卒業論文についてその題目と概要を記入すること（作成途中の場合は予定を記入）。 ※ 別紙にて提出する場合は記入不要。 ※ 学部卒業者で卒業論文を作成していない場合は、その旨を記入すること。 ⑦ 「入学後の研究計画案」欄は、研究計画を400～500字程度にまとめて記入すること。 ※ 別紙にて提出する場合は記入不要。
卒業証明書 (含見込)	<p>〈博士前期（修士）課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終出身大学作成のものを提出すること。 ※ 大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書 (含見込)	<p>〈博士前期（修士）課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終出身大学作成のものを提出すること。 ※ 大学院を修了した者（又は修了見込の者）は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終出身大学院作成のものを提出すること。
論文	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <p>次の①②を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 修士論文又はこれに代わる業績1部 ② 上記の要旨（4,000字程度） <p>※ 上記①②いずれもコピー可。返却はしない。</p>
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※ 日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。
住民票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※ 在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※ 窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末－身元保証書を使用すること。 ・ 保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ・ 保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートの コピー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 研究科概要及び特色

経済学研究科 経済学専攻

経済学専攻の概要

わが国経済は、①産業の空洞化に直面し、産業構造をいかに高度化転換していくか、②高度情報・通信社会のためのインフラをいかに構築していくか、③迫りくる高齢化社会に対応する医療・年金・福祉等の社会保障システムをいかに整備し、その財源をどこに求めていくかなど、多くの課題に直面している。

経済学専攻の主要な役割は、これらの諸問題に対して、①強い問題意識を持ち、優れた歴史観と理論的分析力をもって、理論的・実証的に問題解決に迫りうる学問的能力を養い、専門的研究を行う有望な経済学研究者を育てること、②高度の経済学の知識と現実問題の解決力を身につけた者を社会に送り出すこと、③税理士の資格を得るための基礎的学力を涵養すること、等が挙げられる。

経済学専攻の課程は博士前期（修士）課程と博士後期課程から成り、博士後期課程においては、さらに高度の研究を行うことによって、経済学研究者や経済専門職業人を養成することを主たる目的としている。

経済学専攻の特色

経済学専攻の特色を挙げると以下の通りである。

(1) 「歴史」、「理論」、及び「政策」を中心とする正統派的なカリキュラム編成

①経済学において歴史的な考え方・捉え方はきわめて重要であり、「経済史」に関する講義・研究指導を充実させている。②経済の現実問題を的確に把握し、理解するためには「理論」はその基礎として重要であり、現代の経済理論の基本と応用や経済理論・経済思想の発展に関する充実した講義と研究指導体制を確立している。③種々の経済問題の解決をはかるための政策についても、財政、金融、国際経済学、産業経済学等各種の政策論に関する講義と研究指導を行っている。

(2) 研究指導に重点をおく教育

大学院生は、それぞれ自分で選んだ指導教授のもとで研究を行うが、その場合、マン・ツー・マンに近い研究指導を行っている。教員は、個々の院生の学力、志望に従って、キメの細かい丁寧な研究指導を行い、学力アップと水準の高い研究論文の作成に援助している。

(3) 税理士志望者のための研究指導

本専攻の入学には税理士志望者が多いという実情に鑑み、これらの院生に対しては、財政や税制に関する研究指導はもとより、将来、税理士として活躍できるための基礎学力と専門知識を養うための講義と研究指導を行っている。

(4) 研究者志望者のための水準の高い研究指導

将来、研究者を目指す者に対しては、本人が志望する専門分野に従って、必要な基礎的学力を身につけるように指導するとともに、研究テーマに沿った水準の高い研究指導を行って、有望な研究者を学界に送り出すことを目標としている。

(5) 社会人学生への配慮

就業しながら大学院で高度専門知識を修得したいという社会人に対して、演習科目を重視した研究指導や昼夜開講制、3年の修学期間が選択可能な長期履修制度（博士前期（修士）課程のみ）がある。

経済学専攻の人材の養成と教育研究上の目的

本学では、よりよい教育研究のため、「教育研究上の目的に関する規程」を作成し、その中で、各研究科の「人材の養成に関する目的」を明記しています。

●経済学研究科経済学専攻の「人材の養成に関する目的」

(1) 経済学専攻博士前期課程は、専門教育を通じて以下に掲げる人材の養成を目的とする。

- ①経済学の新しいパラダイムの構築に資することのできる研究者
- ②国際的に貢献できるエコノミスト等
- ③高度な専門学識を通じて学問研究と社会の結びつきに資する専門職業人
- ④出身国ならびにわが国の発展と相互友好のために活躍できる外国人研究者

(2) 経済学専攻博士後期課程は、博士前期課程に掲げたものと同一であるが、特に、それらの目的を自立的に遂行できる能力を培うための論文作成指導を徹底し、より高度な経済専門研究者及び職業人を養成することを目的とする。

9. 教員組織

経済学研究科長 中山 恵子

経済学専攻

経済学専攻長 中山 恵子

経済学

博士前期課程 (修士課程)	職 位	名 前			講義科目
	専任教授	柿	元	純 男 [★]	貿易政策研究
	専任教授	白	井	正 敏	財政学研究
	専任教授	山	田	光 男	計量経済学研究
	専任教授	中	山	恵 子	ミクロ経済学研究
	専任教授	椿		建 也	経済史研究
	専任教授	近	藤	健 児	国際経済学研究
	専任教授	阿	部	英 樹	経済史研究
	専任教授	釜	田	公 良	経済政策研究
	専任教授	梅	村	清 英 [★]	国際経済学研究
	専任教授	小	林	毅	金融論研究
	専任教授	内	田	俊 博	環境経済学研究
	専任教授	鈴	木	崇 児	都市経済学研究
	専任准教授	平	澤	誠	経済政策研究
	専任准教授	古	川	章 好	財政学研究
	専任准教授	都	丸	善 央	ミクロ経済学研究
	専任准教授	古	川	雄 一	マクロ経済学研究
	専任准教授	湯	田	道 生	社会保障論研究
	専任准教授	増	田	淳 矢	統計学研究
	専任准教授	風	神	佐 知 子	労働経済学研究
専任准教授	吉	野	裕 介	経済学史研究	

博士後期課程	職 位	名 前			専攻分野
	専任教授	柿	元	純 男 [★]	貿易政策
	専任教授	白	井	正 敏 [★]	財政学
	専任教授	山	田	光 男	計量経済学
	専任教授	中	山	恵 子	ミクロ経済学
	専任教授	椿		建 也	西洋経済史
	専任教授	近	藤	健 児	国際経済学
	専任教授	阿	部	英 樹	日本経済史
	専任教授	釜	田	公 良	経済政策
	専任教授	梅	村	清 英 [★]	貿易論
	専任教授	小	林	毅	金融論
	専任教授	内	田	俊 博	環境経済学
	専任教授	鈴	木	崇 児	都市経済学
	専任准教授	平	澤	誠	財政政策
	専任准教授	古	川	章 好	地方財政
	専任准教授	都	丸	善 央	産業組織論
	専任准教授	古	川	雄 一	マクロ経済学
	専任准教授	湯	田	道 生	社会保障論
	専任准教授	増	田	淳 矢	統計学
	専任准教授	風	神	佐 知 子	労働経済学
専任准教授	吉	野	裕 介	経済学史	

★…指導教員として選択できません。

※上記は2017年5月現在の教員組織です。

10. 教員の研究分野の紹介

経済学専攻

教員名 及び 専攻分野	専攻分野の内容
KAKIMOTO, Sumio 柿元純男 ★ 貿易政策 Trade Policy	国際貿易の純粋理論はヘクシャー＝オリーンモデルを基礎に発展してきている。2国2財2要素モデルから、多数国多数財多数要素モデルへの拡張、市場構造との関連等研究が進められている。現在の研究テーマは、市場構造と開発政策の有効性に関するものであり、種々の開発政策が失業や厚生にどのような効果をもつかといった問題を分析している。 (参考)『国際経済学の基礎』(共著)(中央経済社),1998年4月、『現代貿易理論の潮流』(共編著)(勁草書房),1998年3月、『基礎経済学』(共著)(中央経済社),1993年3月。『国際貿易の理論』(勁草書房),1989年3月。
SHIRAI, Masatoshi 白井正敏 ☆ 財政学 Public Finance	公共経済学、教育経済学研究 公共経済学理論と規範的方法論を基礎として、年金、社会保障、教育、医療など、現実経済問題への応用分析を発展させる。また、所得再分配制度としての租税政策と公共支出を関連させて分析する総合的研究を展開する。 (参考)『教育経済学』(勁草書房),1990年、『公共経済学研究V』(共編著)(中京大学経済研究所),2012年。
YAMADA, Mitsuo 山田光男 計量経済学 Econometrics	計量経済学の応用研究を行っている。主として多部門モデルや産業連関分析の枠組みを用いて、日本を含む先進国とアジア諸国の貿易と産業構造の相互連関に関する計量経済学的研究を行うとともに、地域産業連関表を中心とした地域経済の計量分析に取り組んでいる。 (参考)『東アジア経済の連関構造の計量分析』(勁草書房)2007年、『日中経済発展の計量分析』(勁草書房)、2012年、Input-Output Analysis of the Interdependence between Japan and China through Japanese Overseas Production, Journal of Econometric Structure, 2014.
NAKAYAMA, Keiko 中山恵子 ミクロ経済学 Micro Economics	主としてミクロ経済学に基づいた理論的分析を行っているが、近年は、非線形計画問題、あるいは環境制御問題を扱ってきた。現在は、産業連関モデルを利用した環境問題に興味を抱いている。 (参考)『非線形計画と非線形固有値問題』(単著)勁草書房,1995年、『統計・計量経済分析のための教育システム』(共著)勁草書房,2000年、『投入産出分析と最適制御の環境保全への応用』(単著)勁草書房,2003年、『初等数量経済分析のための教育方法—Visual Basic を利用して—』(共著)勁草書房,2004年、『経済学周辺の確率過程と教育』(共著)勁草書房,2011年、『ミクロ経済学の考え方』(共著)八千代出版,2012年。
TSUBAKI, Tatsuya 椿建也 西洋経済史 Western Economic History	イギリス流のソーシャル・ポリシー論の中で重要な位置を占める住宅をめぐる諸問題に焦点を当てて、これを歴史的、総合的に検討する。
KONDOH, Kenji 近藤健児 国際経済学 International Economics	国際経済学の一分野である生産要素の国際的移動の理論分析を主として行う。特に国際労働移動のメカニズムやそのひき起こす経済的影響を検討する。 (参考)『国際労働移動の経済学』(勁草書房),2000年、『環境、貿易と国際労働移動』(勁草書房),2009年。
ABE, Hideki 阿部英樹 日本経済史 Japanese Economic History	経済面から、地域社会の歴史を研究している。近世後期から高度成長期の歴史資料の収集・解説を進めながら、地域経済の長期的分析に取り組んでいる。 (参考)『近世農村地域社会史の研究』(勁草書房),2004年、『近世庄内地主の生成』(日本経済評論社),1994年。

★…指導教員として選択できません

☆…博士後期課程は指導教員として選択できません。

教員名及び専攻分野

専攻分野の内容

KAMADA, Kimiyoshi

釜田 公良

経済政策
Economic Policy

現在の主な研究の対象: 世代間所得移転政策、遺産動機、子の数の選択、親と子の居住地選択、環境や教育などの世代間問題。これらに関するもの以外で、過去に行った研究: 社会資本の最適水準の計測、公共投資の地域間配分、高雇用余剰の計測とシミュレーション、所得階層別消費関数の推定、財政投融资のマクロ経済効果など。
(参考): Bequest motives and fertility decisions. *Economics Letters*, 2006. Government transfers and the samaritan's dilemma in the family, *Public Choice*, 2004. Income Redistribution Effect of Public Pensions between Dynastic Families, *Review of Income and Wealth*, 2002、『世代間所得移転政策と家族の行動』(勁草書房), 2000年。

UMEMURA, Kiyohide

梅村 清英*

貿易論
Trade Theory

国際貿易の理論及び政策についてのミクロ経済学的分析を中心に研究している。
(参考)『国際貿易の理論と開発政策』(勁草書房), 2006年。

KOBAYASHI, Takeshi

小林 毅

金融論
Monetary Economics

金融現象に対するミクロ経済学的アプローチを主な研究分野としている。証券市場、保険及び銀行業など、幅広い分野における理論的、実証的研究を行っている。
(参考)『新しい時代の金融システム』(共著)(勁草書房), 2005年、『金融機関の経営と株式市場』(勁草書房), 2005年。

UCHIDA, Toshihiro

内田 俊博

環境経済学
Environmental Economics

主な研究テーマは企業や消費者の自発的な環境行動の経済分析である。近年は環境ビジネスや気候政策への応用を中心に研究を進めている。
(参考) "Prioritizing barriers to implementing more CDM projects in Indonesia: An application of AHP," *Asian Social Science*, 2014.

SUZUKI, Takaji

鈴木 崇児

都市経済論
Urban Economics

都市・交通を中心とした地域経済学を研究分野としている。都市交通における需要管理施策や規制緩和、都市における集積の経済性について計算機システムによるシミュレーションを基礎とする分析を行っている。
(参考) "The second best pricing for urban transit with environmental constraint" (*Urban Transport and environment V*), 『都市交通プロジェクト評価—例題と演習—』(分担執筆)(コロナ社), 『都市鉄道の次善料金形成—自動車交通との競合下での理論—』(勁草書房)

HIRAZAWA, Makoto

平澤 誠

財政政策
Fiscal Policy

財政的手段を用いた政府による様々な政策の効果を主に理論的に分析している。特に、環境政策や年金、社会保障政策など、世代間での利害調整に関わる経済問題に関心を持っている。また最近では、少子高齢化など人口動態の変化の下での政策の効果にも関心がある。
(参考) "Fertility, child care outside the home, and pay-as-you-go social security," (共著) *Journal of Population Economics*, 2009. "Effects of international sharing of pollution abatement burdens on income inequality among countries," (共著) *Journal of Economic Dynamics and Control*, 2011.

FURUKAWA, Akiyoshi

古川 章好

地方財政
Local Public Finance

地域での公共投資もしくは社会資本の最適供給問題を中心として、公共投資の地域配分、地方政府の社会資本供給問題等の公共支出に関する問題を研究している。また、望ましい地方分権のあり方、市町村合併、地方の人口規模、行政サービスのあり方に関する諸問題も研究している。

TOMARU, Yoshihiro

都丸 善央

産業組織論
Industrial Organization

主な研究テーマは寡占理論、特に、私企業と公企業による競争を理論的に分析することである。近年は産業政策がそうした競争にどう影響するかについて研究している。
(参考) "Mixed Duopoly, Privatization, and Subsidization with Excess Burden of Taxation." (with Toshihiro Matsumura) forthcoming in *Canadian Journal of Economics*.

★…指導教員として選択できません

教員名及び専攻分野

専攻分野の内容

FURUKAWA, Yuichi

古川 雄一

マクロ経済学
Macroeconomics

経済成長と景気循環に関する理論的研究、マクロ経済全体を分析対象とし、その持続的成長の決定要因や短期的な変動の原因を分析している。近年は特に、知的所有権保護が経済成長プロセスに与える影響に関心がある。

(参考) “The Protection of Intellectual Property Rights and Endogenous Growth: Is Stronger Always Better?” *Journal of Economic Dynamics and Control* 31, 2007. “Intellectual Property Rights and Appropriability of Innovation” *Economics Letters*, 2009.

YUDA, Michio

湯田 道生

社会保障論
Social Security Policy

社会保障分野における様々な政策課題について、経済理論と実際のデータを用いた経済学的な分析に取り組んでいる。近年は、特に医療・介護・健康政策の評価について強い関心を持っている。

(参考) “The Effects of Informal Caregivers' Health on Care Recipients” (with Jinkook Lee), forthcoming in *Japanese Economic Review*. “Inefficiencies in the Japanese National Health Insurance System: A Stochastic Frontier Approach”, *Journal of Asian Economics*, Vol. 42, pp. 65-77, 2016年。

MASUDA, Junya

増田 淳矢

統計学
Statistics

経済の理論を検証する場合、抽象的な経済理論を具象化して適切な計量モデルを構築して、適切な経済データを利用して検証を行う必要がある。現在の研究テーマは統計学的にも経済学的にも適切な計量モデルを構築して、さまざまな経済理論を検証することが可能な計量モデルを提案することである。

(参考) “Residual-based tests for cointegration in models with multi-breaks” *Applied Economics Letters*, 2008.

KAZEKAMI, Sachiko

風神 佐知子

労働経済学
Labor Economics

賃金による労働市場の調整機能や、雇用のミスマッチ問題、海外生産が日本の労働市場に与える影響など国内の労働経済研究のほか、海外の労働市場を対象としたインフォーマルセクターに関する研究なども行っている。

(参考) 2013, “The Effect of Intermediate and Final Goods Trade on Labor Demands in Japanese firms” (with M. Endoh) in *Globalism and Regional Economy*, Ed. Susumu Egashira., 2012, “Difference Effects of Trade by Type of Employment, Gender, Age and Education: Evidence from Matched Employer-Employee Data in Japan (with M. Endoh)”, *Chukyo University Institute of Economics, Discussion Paper Series*.

YOSHINO, Yusuke

吉野 裕介

経済学史
History of Economic Thought

経済学史・経済思想と呼ばれる分野のなかでも、特にフリードリッヒ・ハイエク（1899-1992）を中心に、二十世紀の自由主義経済思想について研究してきた。最近では、グローバル化・情報化をふまえた新しい市場と政府のあり方を考えるため、「オープンガバメント」の思想的意義にも関心を持っている。

(参考) 『ハイエクの経済思想：自由な社会の未来像』（単著）勁草書房、2014年。『現代の経済思想』（共著）、2014年。『「統治」を創造する新しい公共／オープンガバメント／リーク社会』（共著）春秋社、2011年。「アメリカにおけるハイエクの『隷属への道』：思想の受容・普及プロセスからのアプローチ』『経済学史研究』55（1）、36-52、2013年ほか。

巻末書類

巻末書類のヘッダー	書類名	備考
巻末—身元保証書	身元保証書	外国人留学生のみ提出
巻末—国際英語学・志願書	国際英語学研究科国際英語学 専攻志願書	志願する研究科（専攻）の 志願書を提出
巻末—経済学・志願書	経済学研究科経済学専攻 志願書	

外国人留学生 身元保証書

この身元保証書は、外国人留学生のみ提出すること。

出願研究科・専攻	研究科		専攻	課程 いずれかに○	・博士前期（修士）課程 ・博士後期課程
氏名	フリガナ				
	漢字				
	ローマ字				
生年月日 (西暦)	年	月	日生	年齢・性別	歳 男・女 国籍
現住所	〒 TEL() -				

中京大学長 殿

私は上記の者が中京大学大学院留学生として日本に在留中、責任をもって下記事項を保証いたします。

1. 本人が学業に専念するよう監督すること
2. 本人が学費、生活費、帰国旅費及び医療費を支払えないときの負担
3. 本人が日本国法令上関係するあらゆる場合の身元引き受け

フリガナ
保証人氏名 _____

〒

現住所 _____

電話番号 () - 携帯電話番号 () -

職業 (詳細に) _____

年収 (税込み) _____

本人との関係 _____

日付 (西暦) 年 月 日 署名 _____ (印)

保証人は日本に居住し、独立して生計を営んでいる者で、在学期間中の本人に関する全ての事項について保証できる者とする（日本国籍を有していなくても可）。

国際英語学専攻 志 願 書

国際英語学 研究科		国際英語学 専攻		大学記入	
課 程	修 士 課 程			入 学 期	2017年度秋学期
氏 名	フリガナ		生年 月 日	1 9 年	月 日生 () 歳
			性別	男 ・ 女	
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス :				写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
帰省先	〒 TEL() -				
外国人のみ 記入	国 籍	出願時の在留資格			
		入学後の在留資格 (予定)			
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をきれなく記入すること。			
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

キ
リ
ト
リ

氏名

大学記入

題目：

概要：

卒業論文又は修士論文

- 注：① 概要は400字程度で記入すること。作成途中の場合は、予定を記入すること。
② 学部卒業者(卒業見込者)で卒業論文を作成してない場合は、その旨を記入すること。
③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

研究題目：

入
学
後
の
研
究
計
画
案

- 注：① 400字程度で記入すること。
② 別紙にて提出する場合は記入不要。

経済学専攻 志願書

入学期	2017年度秋学期	課程 (○で囲む)	博士前期(修士)課程 ・博士後期課程	大学記入
試験区分 (○で囲む)	(博士前期課程志願者のみ記入) 一般・社会人・税理士・留学生		志望する 専攻分野	
在学期間 (○で囲む)	(博士前期課程社会人選抜志願者のみ記入) 2年 ・ 3年		志望指導 教員名	
選択科目<2科目選択> (○で囲む)	(博士前期課程「一般選抜」志願者のみ記入、2科目選択すること) ①ミクロ経済学 ②マクロ経済学 ③志望する専攻分野の科目 *筆記試験は上記2科目の他「英語」を含む			
志望指導教員 との面談年月日 ※志願者全員記入要	年 月 日 ⑩ *志望指導教員が記入し捺印すること			
氏名	フリガナ	生年月日	19 年 月 日生 () 歳	写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
		性別	男・女	
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス:			
帰省先	〒 TEL() -			
外国人のみ 記入	国籍	出願時の在留資格		
		入学後の在留資格 (予定)		
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。		
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			

キ
リ
ト
リ

氏名 _____

修士論文又は卒業論文	題目：
	概要：

- 注：① 博士前期（修士）課程修了者（修了見込者）は修士論文について、学部卒業者（卒業見込者）は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は、予定を記入すること）。
- ② 学部卒業者（卒業見込者）で卒業論文を作成してない場合は、その旨を記入すること。
- ③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

入学後の研究計画案	

- 注：① 400字～500字程度にまとめて記入すること。
- ② 別紙にて提出する場合は記入不要。

入試に関する問い合わせ

中京大学 教学部大学院事務課

TEL (052) 835-9863 〈受付時間〉 平日 9 : 00~17 : 00

E-mail gs-office@mng.chukyo-u.ac.jp

名古屋キャンパス

文学研究科・国際英語学研究科・心理学研究科・法学研究科・経済学研究科・経営学研究科
工学研究科（機械システム工学専攻・電気電子工学専攻）

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2

豊田キャンパス

社会学研究科・情報科学研究科※・体育学研究科・工学研究科（情報工学専攻）

※情報科学研究科は指導教員の研究室の設置が名古屋キャンパスの場合、名古屋キャンパスに通学する場合があります。

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101